

蓄電池物流の拡大について

～脱炭素社会の実現に寄与するプラットフォームを構築～

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:福田 泰久)は、脱炭素に向け蓄電池の需要増加がさらに見込まれることから、蓄電池物流のプラットフォームを構築して同物流事業に本格参入し、事業拡大を図ります。

当社は、約10年前から太陽光発電の普及に伴い、主に住宅向けの発電パネルや蓄電池の輸送に取り組み、さらに最近では、自動車用鉛電池の保管・配送など、長年にわたり物流のノウハウを築き上げてきました。

2020年10月に政府が発表した「カーボンニュートラル宣言」(2050年に温暖化ガスの排出実質ゼロ)により、今後、EV(電気自動車)やスマート住宅の普及など、蓄電池の需要はさらなる拡大が見込まれます。

こうした諸環境への対応を図るべく、当社はデジタルプラットフォームを駆使し蓄電池部材の『生産物流 ⇒ 販売物流 ⇒ リサイクル物流』とサプライチェーン全体にわたるプラットフォームの構築に取り組んでいます。これをさらに進めるため、今年4月、マテリアル物流営業本部内に営業窓口を設置すると共に、今春、ワークショップの開催を計画しています。

以上

■ 蓄電池物流プラットフォーム ～循環型サプライチェーンロジスティクスの実現～



< 本件に関するお問い合わせ先 >

(記事) センコーグループホールディングス株式会社 広報室

電話 06-6440-5156

(お客様) センコー株式会社 マテリアル物流営業本部

電話 03-6862-7071